



はじめに

WYSBHVXG STM32L4 BLE EWARM

評価版

1. はじめに

このたびは、eForce製品をご試用頂きありがとうございます。

本書では、評価版パッケージの制限事項、インストール手順について説明いたします。

制限事項

本評価版は、サンプルフォルダに準備されている評価ボード上での使用を対象としています。収録されているプログラムを製品評価以外の目的で使用することはできません。

そのため、本評価版は製品版とは異なり、カーネルの及び BLE スタックのソースコードが含まれないほか、下記の機能制限がなされています。

・ ID 数の制限 (RTOS)

ユーザーには見えない RTOS 内部で使用する ID も含め、すべてのオブジェクト ID をユニークな 8bit の値で管理しています。その ID 総数は、次の式で計算され、製品版では 512 ですが、**評価版では 32** に制限されています。

	タスク優先度上限
	共有スタックの個数
	タスクの個数
	セマフォの個数
	イベントフラグの個数
	メールボックスの個数
	データキューの個数の 2 倍
	固定長メモリプールの個数
+) <u> </u>	<u>周期ハンドラの個数</u>
	ID 総数

・ BLE スタックの機能制限

評価版では、以下の機能を制限しています。

- ・ 最大接続デバイス数

製品版の上限値は 25 ですが、評価版では 1 に制限されています。

- ・ 最大 GATT アトリビュート数

製品版の上限値は 65535 ですが、評価版では 25 に制限されています。なお、BLE スタック内部でアトリビュートを 10 個使用するため、実質使用可能な数は 15 個です。

- ・ アドバタイジングパケットの送信継続時間

製品版ではタイムアウト無しに設定可能ですが、評価版では 60 秒経過辞典で強制タイムアウトとなります。

- ・ セントラルロール

セントラルの機能はすべて使用不可能です。

- ・ SM(セキュリティマネージャ)

SM の機能はすべて使用不可能です。

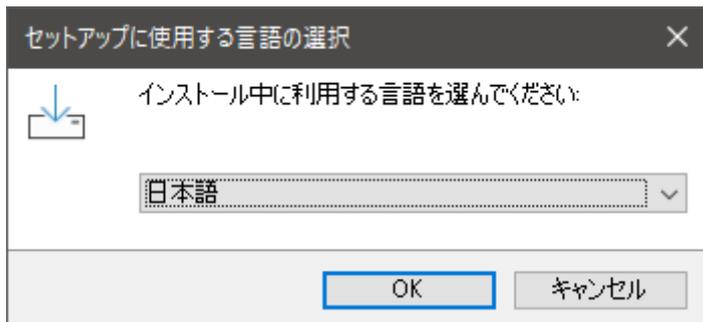
- ・ GATT クライアント

GATT クライアント機能はすべて使用不可能です。なお、GATT サーバの notify、indicate は使用可能です。

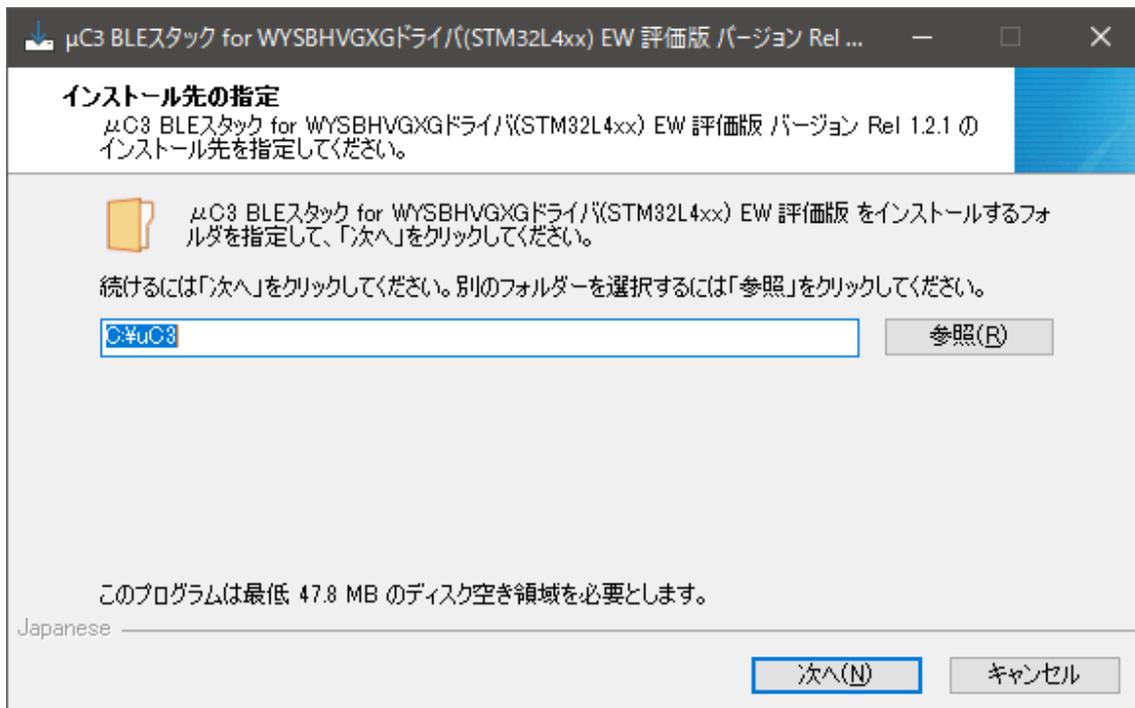
2. インストール

μC3/Compact評価版の時

uC3CmpEva_WYSBHVXGXG_STM32L4_BLE_EW_Rxxx.exe¹ を実行し画面に従いプログラムをインストールします。最初に下記メッセージが表示されるので、インストール時の言語を選択し、OKをクリックします。



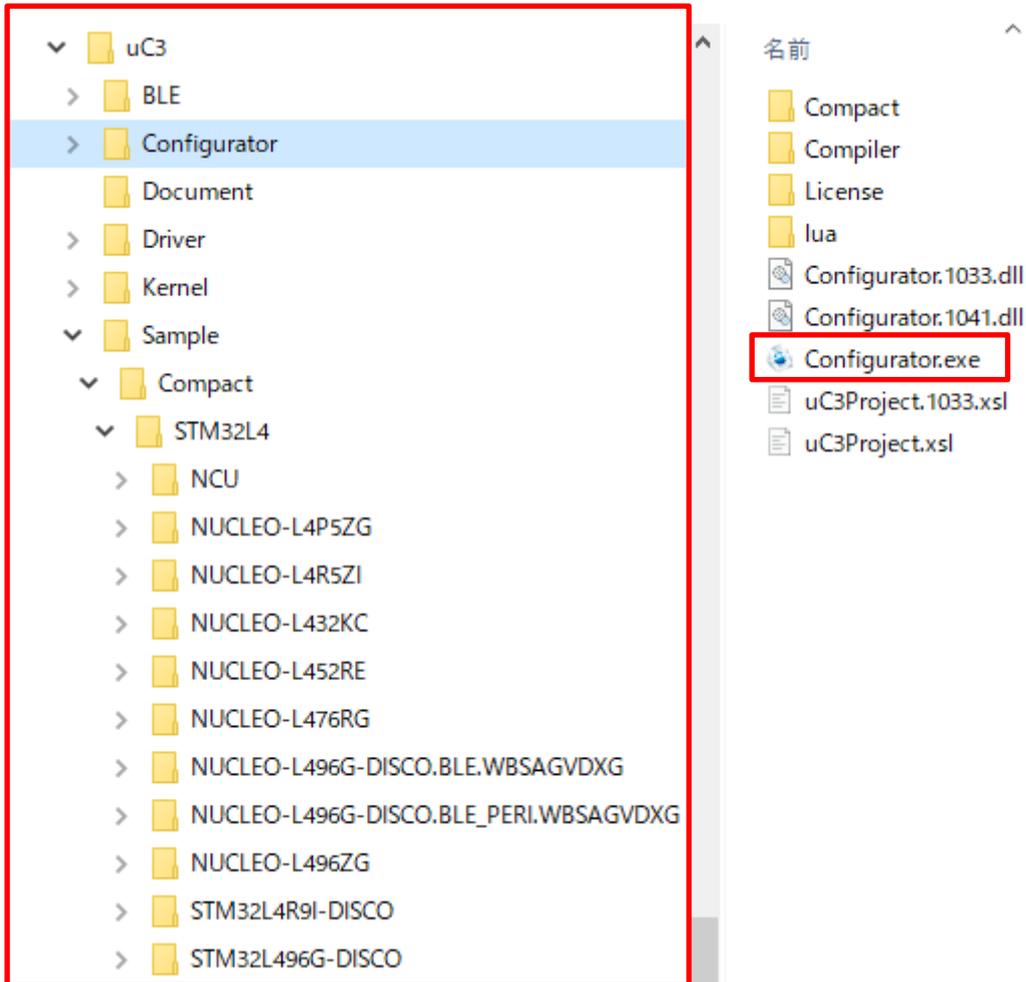
インストールするフォルダを選択してください。



¹ ターゲットコンパイラ毎に評価版インストーラを用意しています。本書では IAR システムズ社コンパイラ向けを例としています。

フォルダ構成

インストールが完了すると、以下のフォルダ構成となります。



コンフィグレータの起動

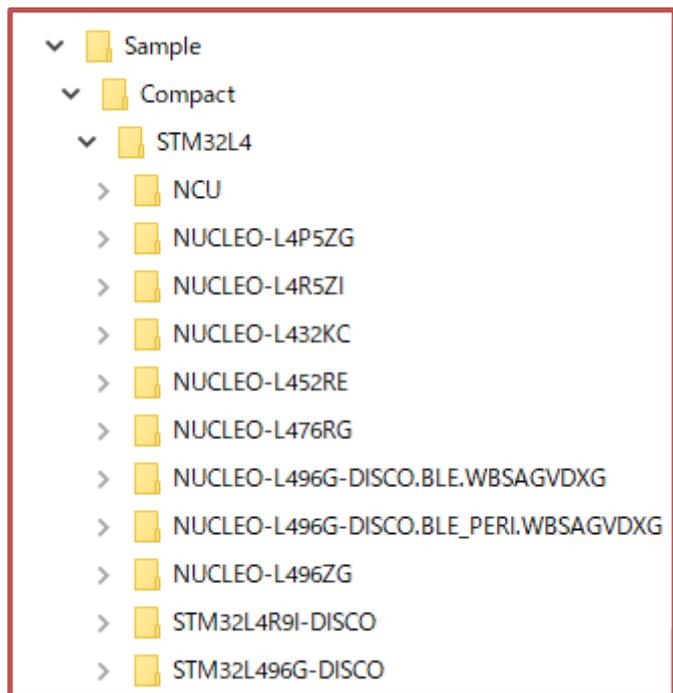
μ C3/Compactでは、RTOSやBLEスタックのコンフィグレーションが簡単に行えるようにGUIのコンフィグレータが付属しています。インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選択した場合は、デスクトップに作成されたのアイコンを実行すると、μ C3コンフィグレータが起動されます。

または、直接「¥uC3¥Configurator¥Configurator.exe」を起動してください。

サンプルプログラムの実行

μ C3/Compact では、評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。サンプルプログラムの実行方法は、**チュートリアルガイド**を参考にして下さい。この文書は、コンフィグレータのメニューから「ヘルプ」⇒「ヘルプの表示」で参照することができます。

各評価ボードのサンプルプログラムは、パッケージをインストールした **Sample²**フォルダにあります。



² 収録サンプルは使用される評価版毎に異なります。